



# 気候変動適応計画改定について

環境省 地球環境局 総務課 気候変動科学・適応室

令和8年3月19日

熱中症対策推進会議幹事会



# 気候変動適応とは

## 気候変動適応とは

気候変動対策には「緩和」と「適応」が存在。**両輪で進めることが不可欠。**

- ・緩和：世界全体で気候変動の原因となる温室効果ガスの排出削減対策
- ・適応：国や地域ごとに、気候変動の影響による被害の回避・軽減対策

## 気候変動適応法

**科学的知見の集約・活用及びそれに基づく各分野の適応の総合的な推進は国に求められる重要な責務。**

国による影響評価、政府全体の適応に関する計画策定、地方公共団体や事業者、国民等の適応策の促進のための情報基盤整備や、地域での適応の強化、国際展開、熱中症対策の推進等に関することを規定。

**気候変動適応法に基づき、**

- ・5年ごとに作成する最新の**気候変動影響評価報告書**を令和8年2月に公表。
- ・これを踏まえ、「**気候変動適応計画**」を令和8年度に改定予定。

## 気候変動適応計画 (R3.10)

目標

気候変動影響による被害の防止・軽減、国民の生活の安定、社会・経済の健全な発展、自然環境の保全及び国土の強靭化を図り、安全・安心で持続可能な社会を構築することを目指す

分野別施策

【農業・林業・水産業】【自然生態系】【自然災害・沿岸域】【健康】産業・経済活動【国民生活・都市生活】の7分野の影響ごとの施策

- ・高温耐性品種の導入
- ・サンゴ礁生態系の保全
- ・「流域治水」の推進
- ・熱中症予防情報伝達 等

基盤的施策

分野横断的に取り組む施策。

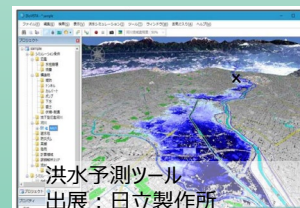
- ・プラットフォームを通じた国内外の気候リスク情報の集約・提供
- ・地域気候変動適応計画の支援
- ・事業者の「気候リスク管理」の支援 等

### <適応策の例>



愛媛県のブラッドオレンジ産地化  
(出展：えひめ南農業組合)

果樹の適地変化に対する新たな作物を導入し地域の特産品に

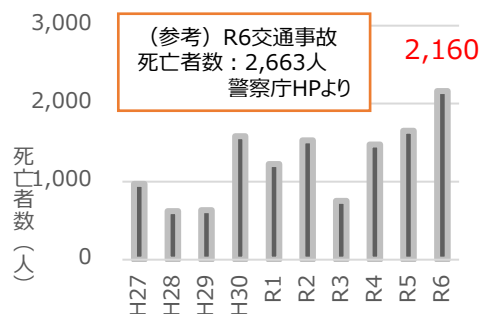


洪水予測ツール  
出展：日立製作所

気象災害を予測する先端システムの導入・海外展開

### <気候変動影響の例>

平成30年以降、令和3年を除いて熱中症の死亡者は**1,000人超え**



極端な大雨の頻度・強度の増加により洪水等による**災害リスク増**



自然災害の多発・激甚化 (サプライチェーン断絶等の影響)、食料問題の深刻化等の**世界的影響が予測**。我が国でも影響が全国で現れており、**地域の社会・経済に危機的影響**。

# 第3次気候変動影響評価報告書のポイント（概要）

第3次気候変動影響評価においては、以下を踏まえて実施。

- ① 最新かつ広範な科学的知見を反映
- ② 影響の重大性の評価を2段階から3段階に細分化
- ③ 特に強い影響を受ける地域や対象の整理
- ④ 適応策及びその効果に関する知見の整理

現状から将来予測にわたって重大性・緊急性・確信度が高いなど特に優先的に対応が必要な項目※が明らかになった。

※重大性（現状、1.5～2℃上昇時、3～4℃上昇時）・緊急性・確信度の評価が全てレベル3の項目及び分野別WGで、重大性及び緊急性がレベル3かつ、新たに追加された項目又は社会的関心の高さ等を勘案して取り上げるべきとされた項目

## 特に優先的に対応が必要な項目の影響の概要

### 【農業・林業・水産業】

- 水稲：コメの収量・品質低下
- 果樹：ミカン・リンゴ等果樹の栽培適地の変化
- 農業生産基盤：大雨による農地・農業設備への被害
- 沿岸域・内水面漁場環境等：海水温の上昇によるワカメ等の不漁

### 【水環境・水資源】

水供給(地表水)：渇水の増加・農業用水等の不足

### 【自然生態系】

- 亜熱帯：珊瑚の白化現象の頻度増加
- 温帯・亜寒帯：海藻等の分布域の縮小・北上
- 分布・個体群の変動：生物の分布域の変化

### 【自然災害・沿岸域】

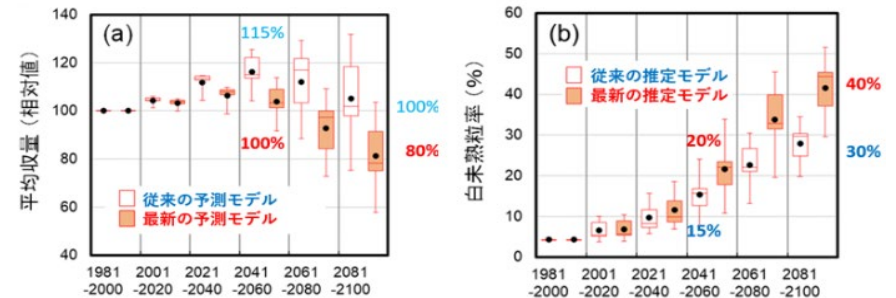
- 洪水：洪水の発生地点数の増加
- 内水：内水氾濫の可能性の増加・浸水時間の長期化
- 土石流・地すべり・土砂流出等：時間降水量の増加による土砂災害発生件数の増加

### 【健康】

暑熱：気温上昇に伴う、熱中症による救急搬送者数・死亡者数の増加や循環器系疾患等での死亡率・入院・救急搬送者数の増加

### 【産業・経済活動】【国民生活・都市生活】

インフラ・ライフライン等：大雨・台風等による電気・ガス・水道などのライフラインの寸断



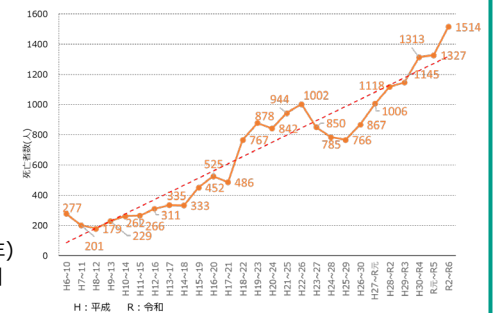
水稲の収量(a)および白未熟粒率(b)の20年毎の推移(全国平均)(RCP8.5) (Ishigooka et al., 2021)



白化した珊瑚  
「サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030」  
(環境省)



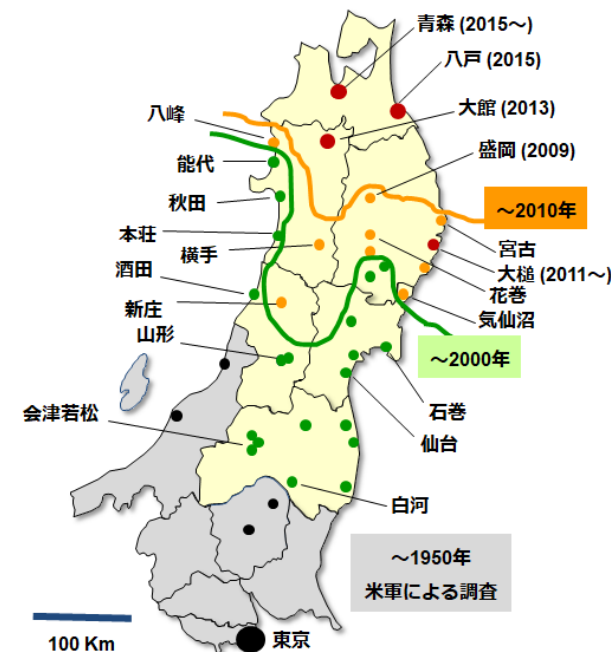
福岡県久留米市の巨瀬川氾濫(令和5年)  
「災害・防災情報：6月29日からの大雨」  
(国土交通省)



熱中症による死亡者(5年移動平均)の推移  
(人口動態統計から環境省作成)

# 気候変動影響の例（健康分野）

大項目	小項目	気候変動影響の例
暑熱	死亡リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>高温による全死亡の増加</u></li> <li>● <u>特に高齢者・相対的に寒冷な地域・大都市圏でのリスクの増加</u></li> </ul>
	熱中症	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>熱中症による救急搬送者数・死亡者数の増加</u></li> <li>● <u>特に高齢者・梅雨明け時期・高緯度地域でのリスクの増加</u></li> </ul>
	疾病発生・悪化、死因別死亡リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>気温の上昇による各種疾患（循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患・泌尿器疾患等）での死亡率・入院・救急搬送の増加</u></li> <li>● <u>高齢者・小児・胎児（妊婦）・糖尿病患者等のリスクの増加</u></li> </ul>
感染症	節足動物媒介感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>マダニにより媒介されるSFTS等の発生件数や地域の増加</u></li> <li>● <u>さらなる気温の上昇によるヒトスジシマカにより媒介されるデング熱等の流行可能地域・時期の拡大（将来）</u></li> </ul>
その他	メンタルヘルスへの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>気温の上昇に伴う自殺・自傷行為の増加</u></li> <li>● <u>自然災害の増加によるメンタルヘルスの悪化</u></li> </ul>
	自然災害に起因する健康影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>自然災害の増加・激甚化による各種疾患・感染症等の増加</u></li> <li>● <u>自然災害による環境の変化・介護サポートの欠如に伴う高齢者・基礎疾患有病患者への影響</u></li> </ul>



ヒトスジシマカ分布域の拡大

出典：前川ら（2020）病原微生物検出情報41（6），4-5.

※将来生じると予測される影響に（将来）と記載。

（将来）と記載のない影響は、現在既に生じており、将来その影響が大きくなること等が予測される影響

※下線は今回の評価において追加・更新された知見

# 適応計画改定の進め方

2026年 1月30日	気候変動影響評価報告書に関する中央環境審議会答申
2月16日 2月17日	第3次気候変動影響評価報告書 公表 気候変動適応推進会議（第9回）開催 ・計画改定の議論のキックオフ
春～秋頃	○気候変動適応推進会議 及び 幹事会 ・計画改定に向けた関係省庁との協議のため適宜開催 ○中央環境審議会 気候変動影響評価・適応小委員会 ・環境省への助言
冬頃	計画改定案の取りまとめ パブリックコメント
2026年 年度内	○気候変動適応推進会議 ・閣議決定案のまとめ → 閣議決定



環境省